

# まちづくり メールニュース

Vol. 249

(H28. 12. 9)

北海道開発局都市住宅課  
まちづくり相談窓口

## 今号の記事

- 32自治体担当者が「景観」を考える！～北海道景観行政セミナーを開催しました～
- 「第1回先進的まちづくりシティコンペ」のエントリー締め切り迫る ～12/13(火)まで～
- フラノマルシェの経済効果 113億円に ～“まち育てフォーラム in 富良野”で分析結果を公表～
- 国営滝野すずらん丘陵公園「ホワイトシーズン」が始まります ～12/23(金・祝)から～

まちづくりに関して紹介したい地域の取組、配信アドレスの変更等については、  
まちづくり相談窓口(メールは[こちら](#))まで

**※配信希望は随時受け付けております。**

各項目の○をクリック  
すると、各項目見出し  
にジャンプします

## 32自治体担当者が「景観」を考える！ ～北海道景観行政セミナーを開催しました～

北海道における良好な景観形成のより一層の推進を目指し、道内の景観行政団体等が連携して景観に関する施策を効率的・効果的に検討・展開していくため、平成22年から北海道開発局と北海道を事務局として「北海道景観行政団体等連携会議」(以下「連携会議」)を毎年開催しています。

今年は11月24日(木)に第7回目の連携会議を国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所との共催により「北海道景観行政セミナー」として開催し、景観行政団体となっている市町をはじめ、観光に関する計画をお持ちの市町村等から32の市町村に参加いただきました。



### 【情報提供・講演・発表項目】

- 1 国土交通省からの情報提供(都市局 公園緑地・景観課 景観・歴史文化環境整備室)
  - (1) 景観法の概要
  - (2) 最近の景観行政について  
※ 政府方針として自治体の景観計画策定の推進が掲げられていること、景観施策を進める意味やメリット、計画策定に活用可能な事業等について説明がありました。
- 2 寒地土木研究所からの講演(特別研究監付地域景観ユニット)
  - (1) 地域景観ユニットの進める「魅力ある地域づくりのためのインフラの景観向上と活用に関する研究」について
  - (2) 事例や研究成果に基づく景観形成やまちづくりの要点について
- 3 道内市町村からの取組事例紹介
  - (1) 函館市の景観に対する取り組みと景観整備機構の指定等について(函館市 都市建設部まちづくり景観課)
  - (2) 東神楽町の取組事例について(東神楽町 建設水道課)
  - (3) 景観形成の取組(中標津町 建設水道部都市住宅課)

※ 発表内容・資料については、「[北海道景観づくりポータルサイト](#)」をご覧ください。

※ 景観法に基づく景観計画の策定(＝景観行政団体への移行)を検討されている市町村は、北海道の各(総合)振興局建設指導課へご相談ください。

## 「第1回先進的まちづくりシティコンペ」の エントリー締め切り迫る ～12/13(火)まで～

国土交通省では、国内外に向けて広く情報発信（シティセールス）できるような先進的なまちづくりの事例を選定し、表彰を行うシティコンペの参加団体を募集しています。

優良事例については「国土交通大臣賞」として表彰し、受賞者には平成29年3月中旬に開催予定の「シティコンペ&シンポジウム」において、取り組みについて発表していただくこととしています。

### 1. 募集対象

最先端技術を活用したまちづくりや資金調達、マネジメント、PPPなど新しい手法を活用したまちづくりを行っている都市の地域・区域を募集するもので、取り組みの対象となる技術・テーマとしては、**新型交通、エネルギー・環境・省エネ、健康・モビリティ、安全・安心、防災・減災、道路や上下水道等のインフラ、医療・福祉、コンパクトシティ、再活用・リノベーション、ブランディング**などの都市の課題解消や次世代型都市の創出に資する様々な関連技術・テーマを幅広く募集対象とします。

※実現可能性が高いことが見込まれる取り組みは、計画段階であっても応募可能です。

### 2. 応募資格

地方公共団体、又は地方公共団体と連携している民間団体等（企業、NPO、協議会等）であれば応募可能で、法人格の有無や種類は問いません。なお、**地方公共団体以外が応募者となる場合、地方公共団体の推薦が必要**となります。

### 3. 応募方法・募集締切

平成28年12月13日（火）までに、エントリーシート表紙を電子メールでお送りください。  
平成28年12月20日（火）までに、エントリーシートの原本、推薦状（民間団体が応募される場合）、参考資料を郵送でお送りください（必着）。

■募集要項、応募書類及び提出先は[国土交通省HP](#)に掲載されておりますので、ご確認ください。  
応募に必要なエントリーシートや推薦状の様式がダウンロードできます。

### 4. スケジュール

- ・11月10日から 募集開始（すでに各地方公共団体にはご案内しております。）
- ・12月20日まで 募集締切
- ・1月中旬まで 審査会による審査
- ・1月中旬以降 「国土交通大臣賞」受賞者（5者程度）の発表、選考結果通知
- ・3月中旬 「シティコンペ&シンポジウム」開催

#### シティコンペ&シンポジウム

- ・「国土交通大臣賞」受賞者によるブース展示及びプレゼンテーション
  - ・シンポジウムの開催
  - ・「国土交通大臣賞」の表彰、「審査員特別賞」・「観客特別賞」の決定・表彰
- ※審査員特別賞・観客特別賞は、国土交通大臣賞の受賞者からそれぞれ選定

## フラノマルシェの経済効果 113億円に ～まち育てフォーラム in 富良野で分析結果を公表～

10月28日（金）に「まち育てフォーラム in富良野2016」がフラノマルシェ2のタマリーパで開催されました。（[まちづくりメールニュースvol.247](#)でもご案内しています。）

“まち育てフォーラム”はふらのまちづくり株式会社が主催し、中心市街地活性化に取り組んでいる都市の事例発表のほか、フラノマルシェ事業評価研究会による研究発表、事例発表と研究発表を踏まえたパネルトークが行われましたが、研究発表において、フラノマルシェの開業をはじめとする**富良野市中心市街地活性化基本計画における総合経済効果**が、2010年4月のマルシェ開業から2016年3月までで**113億4400万円**に及ぶとの分析結果が公表されました。

内訳は、マルシェなどの建設やマルシェ店舗の売上といった「**直接効果**」が**65億8千万円**、地元食材の需要が増えたことなどによる「**間接効果**」が**47億6400万円**で、**直接効果に対する総合経済効果が1.72倍**となっております。さらにマルシェの集客による周辺店舗の売上増やマルシェ以外の観光需要増などの“プラスα”の効果が考えられると分析されています。

このように大きな経済効果を生んでいる要因としては、**全ての出店者が地元事業者であり、販売商品の多くも地元企業の商品、さらに地元の原材料を積極的に利用し、建設事業を地元企業が受注したことなど、地域資源の活用によるものが大きいことが挙げられています。**

地域経済への波及効果という点では、富良野市中心市街地の地価上昇にも影響を及ぼしており、北海道が9月20日に発表した2016年の基準価格では、富良野市中心市街地（幸町7-28）が43,500円となり、対前年比で約6.1%上昇しました。

地価上昇は2014年から3年連続となっており、2008年から実施している中心市街地活性化基本計画による事業の展開が不動産価値の向上に寄与しているものと考えられます。



富良野市の中心市街地活性化の取組は、民間が主体となって行政が支援する「官民連携のまちづくり」ですが、まち育てフォーラムにおいて、人口2万3千人のまちとして希少な成功事例であるとの評価を受けました。



## 国営滝野すずらん丘陵公園「ホワイトシーズン」 が始まります ～12/23(金・祝)から～

国営滝野すずらん丘陵公園では、**12月23日(金・祝)**からホワイトシーズン(冬季営業)が始まり、『滝野スノーワールド』としてオープンします。

冬季の開園期間中は、夏にチューリップやコスモスが咲いていた「花のまきば」がファミリーゲレンデとなってスキーやスノーボードが楽しめます。また、4歳以上で初めての方から初級者を対象にしたスキースクールを毎日行っており、**参加費はなんと!200円**(リフト料別)です。当日現地での申し込みで、応募者多数の場合は抽選で当選した方が参加できます。

国内最大級200mのロングコースを一気に滑り降りる**チューブそり**や、初心者から上級者まで全部で6コースが楽しめる**歩くスキー**、ほかにも「**たきのドキドキラリー**」、「**親子で工作教室**」、「**冬のナイトハイク**」、「**大人の森あそび**」など様々なイベントを用意しています。子供から大人まで満喫できますので、ぜひご来園ください。

- 開園期間 平成28年12月23日(金・祝)～平成29年3月31日(金) 予定
- 開園時間 9時～16時 **年末年始も休まず営業します。**
- 入園料金 無料(駐車場は1日410円です。)



### 滝野スキースクール

- 開催日 12月24日(土)～3月の予定(毎日実施)  
(例年は3月10日前後まで ※雪の状態により判断)
- 時間 ①10:30～12:00(受付9:00～9:30)  
②14:00～15:30(受付12:30～13:00)
- 対象 幼稚園・保育園に通園している4歳以上の幼児から大人
- 定員 20～40名/回(スタッフ数により変動、当日現地申込)  
※定員を超える場合は抽選となります。
- 参加費 200円(保険料込み)※リフト料、スキーレンタル料別

### チューブそり

- ロープトウ運行時間 9:15～15:30
- チューブそりレンタル、ロープトウ利用とも無料です。
- 国内最大級200mのコース(夏はビックリボールで遊べる「ローンスタジアム」)をチューブそりで一気に滑り降ります。
- スタート地点まではロープトウでチューブそりに乗ったまま上れるので移動はラクラク。何度もチャレンジできます。
- ストレートコースのほか、期間限定でS字コースも開設されます。
- チューブそりには親子2人で乗ることができますので、小さなお子様とも一緒に楽しめます。
- ※プラスチックそりで遊べる「ちびっ子そりコーナー」もあります。



### 歩くスキー・クロスカントリースキー

- 起伏のほとんどない緩やかなコースから起伏の多い難易度の高いコースまで全部で6コースあり、初心者から上級者まで楽しんでいただけます。
- なお、レンタルスキーセット(有料)もご用意していますので、気軽に始めることができます。
- 各種大会や技術講習会などのイベントも定期的で開催されます。

## はじめてのスノーシューツアー

スノーシューは初めてだけどやってみたい!という方にも、はき方から歩き方まで丁寧にお教えします。

開催日 12/25(日)~1/22(日)までの水・日(1/1 除く)  
及び2/12(日)、15(水)の計10回

時間 10:30から(60~90分程度)

集合場所 森の交流館

定員 15名(※予約申し込みは事前に電話又はWebで)

参加費 200円(保険料込み)

備考 スノーシュー貸出無料!サイズは16cmからあります。

※なお、スノーシュー体験は毎日実施しており、そのほかガイドツアーを実施する予定です。



## ジェルキャンドル作り

クリスマスにぴったりのジェルキャンドルを作ります。

開催日 12月23日(金・祝)

時間 ①10:30~12:00 ②13:00~14:30

場所 東口休憩所“スキヤーズサロン”

定員 30名/回(当日現地先着順)

参加費 1,300円から/個

協力 空知キャンドル倶楽部

## 木の実の妖精タキナッツを探せ!

ツリーハウスの中を探検して木の実の妖精「タキナッツ」を探そう。

隠れているタキナッツ達を見つけられるかな!?

クリアできた方にはタキナッツグッズをプレゼントします。

開催日 12月23日(金・祝)~1月17日(火)

時間 9:00~15:00

集合場所 森の交流館

参加費 無料

※「タキナッツ」は滝野の森ゾーンに実際にある木の実(ナッツ)がモチーフになっています。



## 道央雪合戦チャンピオンズカップ

冬のスポーツ「雪合戦」の大会で、誰でも参加できる「体験部門」と昭和神山国際雪合戦大会の前哨戦となる「ランキングステージ部門」があります。会場は「つどいの森」となります。

【雪合戦体験部門】

日時 1月14日(土) 9:30~16:00(事前申込 12/25まで)

参加費 7,000円/1チーム 定員16チーム

【ランキングステージ部門】

日時 1月15日(日) 9:30~16:00(事前申込 12/25まで)

参加費 10,000円/1チーム

※申込・問合せ先: 北海道雪合戦連盟道央ブロック(共催)

TEL 090-9430-9380/山田 FAX 011-222-2512



ほかにもたくさんのイベントがあります。また、「日本の滝百選」にも選ばれている「アシリバツの滝」は12月下旬頃から凍り始め、徒歩・歩くスキー・スノーシューで氷瀑を見にいくことができます。

詳しくは、滝野すずらん丘陵公園オフィシャル[Webサイト](#)のほか、[Twitter](#)、[Facebook](#)もチェックしてみてください。